

## 1. 新セミナー「ISO 認証組織のSDGs 対応解説セミナー」を開催しました。

ニュースレター9月号に掲載の通り、JICQA 公開研修センターでは新セミナー「ISO 認証組織のSDGs 対応解説セミナー」を開講しました。

本セミナーはSDGsの動向を解説し、SDGsの17の開発目標とISOマネジメントシステム規格(QMS、EMS、ISMS、OHSMS等)との相違性、及びISO認証取得組織がSDGsに取り組む際の推奨ステップを解説するものです。またSDGsの社会的要求に対して効果的に活動するために必要となる情報もご提供しており、ISO認証機関であるJICQAならではの内容となっております。

9月～10月に開催されたセミナーに参加された皆様からのご感想を、以下ご紹介いたします。

<受講された方の声>

- ・SDGsの考え方を自分たちの取り組みへ展開する筋道、その筋道が169の目標と関係していること、また、自分たちの目標に展開して評価するという一連の流れが理解できた。
- ・「社会的／環境的」課題解決への貢献を、「組織の製品/サービス」を通じて実現すること、運用する一連のバリューチェーンの中で実現すること、人材/組織文化や風土といった基盤のさらなる改善を通じて実現することで、身の丈に合った活動ができると自覚できた。
- ・他にない内容のセミナーであり、SDGsを取り巻く現状や既存のマネジメントシステムとの親和性がよく理解できた。

本セミナーは研修会場での対面式のご受講のほか、Zoomによるオンラインでものご受講も可能です。

SDGsへの取り組みをご検討中の組織様はぜひご利用ください。

【ISO 認証組織のSDGs 対応解説セミナー】

[https://www.jicqa.co.jp/iso/seminar\\_k/SDGs\\_00.html](https://www.jicqa.co.jp/iso/seminar_k/SDGs_00.html)

担当：公開研修センター 深谷（フカタニ）、松田、室  
seminar@jicqa.co.jp

## 2. 新セミナー「JIS Q 45100 内部監査員養成セミナー」「JIS Q 45100 規格要求事項の解説」を開講予定です。

JICQA 公開研修センターでは、新しいセミナー「JIS Q 45100 内部監査員養成セミナー」及び「JIS Q 45100 規格要求事項の解説」の開講に向けて準備を進めております。

JIS Q 45100 は労働安全衛生マネジメントシステム規格である JIS Q 45001 (ISO 45001 の JIS 規格版) をベースとした規格で、日本の国内法令との整合性を図るとともに多くの日本企業がこれまでに取り組んできた具体的な安全衛生活動、日本における安全衛生管理体制などを盛り込まれています。JIS Q 45100 と JIS Q 45001 を一体で運用することによって、労働災害防止と労働者の健康確保に一層実効性の高い労働安全衛生マネジメントシステムを構築することができます。

上記の 2 つのセミナーの開催日程は、2022 年 1 月に JICQA ホームページにてご案内の予定です。どうぞご期待ください。

担当：公開研修センター 深谷（フカタニ）、松田、室  
seminar@jicqa.co.jp

### 3. 温室効果ガス排出量検証サービスについてご案内いたします。

本年 11 月 13 日、英国グラスゴーで開催されていた国連気候変動枠組条約第 26 回締約国会議（通称：COP26）が閉幕しました。採択された成果文書（グラスゴー気候協定）では、「産業革命前からの気温上昇を 1.5 度に抑えるための努力を追求する」ことなどが記載されています。

この「1.5 度目標」は、2015 年のパリ協定（COP21）で各国が合意したものであり、世界全体の温室効果ガスの排出量を 2030 年までに 2010 年比で 45%削減する目標です。さらに今世紀半ばまでには、排出量をほぼゼロにしなければなりません。

一方、企業に対しては SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) の考え方に基づく戦略的な取組みと、その情報開示を強く求められるようになっていきます。従来の財務情報の開示と共に非財務情報の開示が求められています。

非財務情報の開示とは、環境報告書、CSR 報告書、サステナビリティ報告書等にて、SDGs の 17 の目標への自社の取組状況を開示することです。

中でも、温室効果ガスの削減は投資家等ステークホルダーからの関心が最も高く、そのため自ら報告するだけでなく信頼ある第三者によるデータ検証（限定的第三者保証）があることが、信頼性を高め評価を高める効果を生んでいます。

JICQA は温室効果ガス排出量の検証に関して、東京都環境確保条例に基づく登録検証機関としての S 評価を得ているほか、環境省 ASSET 事業検証機関等で高い信頼を得て、多くの検証実績を持っています。

温室効果ガス削減量の公表をご検討中のお客様は、下記までお気軽にご相談ください。

担当：営業部 光守（ミツモリ）  
eigy-info@jicqa.co.jp



日本検査キューエイ株式会社 JIC Quality Assurance Ltd. (JICQA)

〒104-0042 東京都中央区入船2-1-1 住友入船ビル12F(総務部:成田、三浦) Tel:03-5541-2751 Fax:03-5541-2955  
【弊社本社を上記住所に移転いたしました。なお、電話番号及びFax番号に変更はございません】